

入選

水のありがたさ

手を洗うとき。料理をするとき。洗濯をするとき。お風呂に入るとき。蛇口を開ければすぐに出てくる「水」は私たちの生活に欠かせない大切な資源である。しかし、当たり前前にあるからこそ、その恵みに気付かずにいる。

先日、テレビを見ていたら、「一度使われた水がまた今と同じように使われるのは約二十年かかる」という話を聞いた。普段何気なく使っている水も、自然界へ戻り、私たちのもとに帰ってくるまでには長い年月がかかるのだ。しかし、水がもう一度私たちのもとに帰ってくるには「浄化する」必要がある。

小学校四年生するとき、私は学校の体験学習で浄水場に見学に行ったことがある。そこでは、自然の恵みである水を人々が安全に使うことができるよう

に、厳しく管理された場所で色々な人が苦勞して一生懸命働いている姿を目にした。私はそれを見て「とてもありがたいな」と感じたことを覚えている。このように、「浄化する」ことには色々な人の手間と労力がかかっているのだ。

また、私たちが生きていくうえで大切な米や野菜などの作物も、水がないと育たない、ということも忘れてはいけない。

では、この地球から水が無くなってしまったらどうなるだろう。生きるのに必要不可欠な水や食物が失われ、手を洗うことや洗濯をすること、お風呂に入ることなどもできなくなる。地球の自然関係のバランスも崩れ、自然環境が最悪になってしまう。つまり、暮らしが成り立たなくなるどころか、地球が崩壊してしまうのだ。そう考えると改めて水のあり

会津若松市立一箕中学校 三年

高橋^{たかはし}

愛可^{まなか}

がたさを感じる。私たちはいつも水の恵みを受けて
生きているのだ。

しかし、今までの私の行動を振り返ってみると、
「すぐ使うし、少しの間だけだから」と水を出しつ
ぱなしにしていたり、水筒の水やお茶をほとんど飲
まずに捨ててしまったりなど、水を大切にしていな
かったことに気付いた。一回一回水を止めるだけな
のに、飲まないのなら最初から水筒を持っていかな
かったり、量を少なくしたりすれば良いだけなの
に、深く考えることなく行動してしまっていた。水
のありがたさに気付かず多くの水をムダにしてし
まったのだ。

私は今まで、水を節約するのは水道代がもつたい
ないからだと思っていた。しかし今は、水を節約す
ることは、水道代を節約するだけではなく、貴重な
自然の恵みを大切にし、水が水道水として私たちの
もとへ届くまでに関わった多くの人の想いや労力を
ムダにしないことだと思うようになった。いつも当
たり前にある水も、なくなってしまうたら自然が成
立しなくなり、私たちは生きていくことができなく

なる。また、水を当たり前のように使うことができ
ているのも、誰かが、顔も名前も知らない私たちの
ために苦勞してくれているからである。

だからこれからは、水は決して当たり前にあるも
のではないこと、私たちは水に支えられて生きてい
ることを忘れずに、蛇口を開ければすぐに水が出て
くること、それを普通に使えていることに感謝して
生活していきたい。また、これらのことを家族や友
達など、身近な人にだけでも少しずつ発信してい
き、みんなが節水を心がけ、水や地球を維持するこ
とができるような、よりよい社会を目指していきた
い。